

幕別町初の快挙に歓喜



高木美帆 選手

女子1500m 銀メダル
女子1000m 銅メダル
女子団体追い抜き 金メダル
獲得

町初となるオリンピックメダリストの誕生

2月9日(金)から開催された平昌オリンピックで、12日(日)スピードスケートの女子1500mに町出身の高木美帆選手が出場しました。美帆選手は、最終14組でメダルとプレシャリーの掛かったスタートでしたが、自身の持つ低地リンク記録を更新する1分54秒55のタイムでゴールし銀メダルを獲得。オリンピックでのメダル獲得は、幕別町初となる偉業で町民に夢と感動をもたらした瞬間となりました。また、同種目での銀メダルは、スピードスケート女子個人種目で初となる快挙でした。

姉妹で金メダル獲得

19日(日)は、女子団体追い抜き(チームパシュート)の1回戦が行われ、日本女子チームのメンバーとして菜那選手と美帆選手が出場しました。日本チームは、8チーム中2位で1回戦を突破し21日(日)に行われた準決勝でカナダチームに勝利し、オランダチームと決勝を行いました。決勝では、日本チームが素早く隊列を整え序盤からリードしましたが、残り4週目からオランダチームが先行。後半にラップタイムを落としたオランダチームに対して、日本チームは逆にラップを上げる見事な滑りで、オリンピックレコードの2分53秒89のタイムでゴールし金メダルに輝きました。

高木菜那 選手

女子団体追い抜き 金メダル
獲得

姉妹が同時にメダルを獲得したことは、冬季オリンピックでの例がなく初となる快挙で、美帆選手も日本女子史上初となる「金・銀・銅」の3つのメダルを獲得する快挙を達成しました。4年に一度のオリンピックの大舞台で、高木姉妹が金字塔を打ち立した金メダル獲得は、町民に感動を与え最高のパフォーマンスを見せてくれた瞬間でした。



団体追い抜き(チームパシュート)
1チーム3人で構成され、女子は400m6周(2400m)のタイムを競う競技で、追い抜いた時点で決着となるほか、3人目のブレードの一番後ろがゴールした時点のタイムが記録となります。勝ち残りトーナメントで行われ、1回のレースで2チームがメインストレートとバックストレートの中央から同時にスタートし勝敗を決めます。最低でもチーム3人が1周は先頭を走行することとなっています。

2018平昌オリンピックスピードスケート 高木姉妹の記録

高木美帆選手			
開催日	種目	記録	結果
2月10日	女子3000m	4分01秒35	5位
2月12日	女子1500m	1分54秒55	銀メダル
2月14日	女子1000m	1分13秒98	銅メダル
高木菜那選手			
開催日	種目	記録	順位
2月16日	女子5000m	7分17秒45	12位

高木菜那・美帆選手			
開催日	種目	記録	結果
2月19日	女子団体追い抜き 1回戦(チームパシュート)	2分56秒09	予選2位 準決勝進出
2月21日	女子団体追い抜き 準決勝(チームパシュート)	2分58秒98	決勝進出
2月21日	女子団体追い抜き 決勝(チームパシュート)	2分53秒89	金メダル

※高木菜那選手が出場のマスタートは4月号でお知らせします。

おめでとう！
姉妹で金メダル



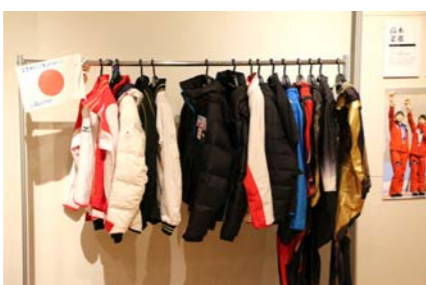


▲高木姉妹の等身大パネルと一緒に写真を撮影し、その写真に応援メッセージを書いてもらいました。

会場の外では



◀▼パブリックビューイング会場の外では、過去のオリンピックやワールドカップなどで実際に使用された上着やスケート靴、獲得したメダルなど、高木姉妹に関するたくさんのグッズが展示されました。



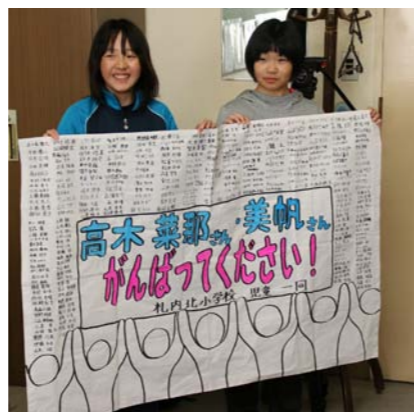
出身校から高木姉妹に応援メッセージ



▲札内中学校

高木菜那選手、美帆選手の2人を応援するため、出身校の札内北小学校と札内中学校で寄せ書きが作られ、オリンピック会場で掲げられるよう高木姉妹のご家族に手渡されました。

札内北小学校では、「高木菜那さん・美帆さんがんばってください」とメッセージを入れ、全校児童と教職員合わせて280人の名前が書かれ、札内中学校では中央に姉妹の似顔絵を入れ、「世界一になって」、「全力を出し切って」などの全校生徒346人からのメッセージが書かれていました。



▲札内北小学校



▲応援に駆けつけた同級生▲



2月10日⑤、12日⑥、14日⑦、19日⑧、21日⑨に出場した高木菜那選手・美帆選手の応援に、パブリックビューイングが百年記念ホールで行われました。連日、多くの町民や関係者が応援に訪れ、5日間で延べ1000人を超える来場がありました。

特に姉妹そろっての金メダルが期待された21日⑨の女子団体追い抜き(チームパシュート)では、競技開始の1時間前から多くの方が来場し、会場に入れないほど詰めかけ、両選手に声援が送られました。

午後10時ごろから始まった、日本対オランダの決勝では、会場内から「行け!」「頑張れ!」などの声援が飛び交い、会場の熱気はピークに達し、金メダル獲得が決まった瞬間、会場が割れんばかりの歓声に包まれ、幕別町初の金メダルに歓喜していました。